

2019年4月 吉日

2019年度東北大学 大学教員準備プログラム 募集要項

Tohoku University Preparing Future Faculty Program (Tohoku U. PFFP)

主催：東北大学 高度教養教育・学生支援機構

現代の大学教員は、研究、教育、管理運営、社会貢献など幅広い役割をこなさなければなりません。しかし、大学院での訓練は主に研究能力の形成が中心となっており、教員の役割をこなすには十分ではありません。

特に、教育活動には、授業設計や効果的な教授法、授業の運営、学生指導など様々なスキルが必要ですが、ほとんどの大学院生は、基礎的な知識をつける機会がないまま教員になり、教壇に立ち、実際の教育活動を通じて経験的に学んでいるのが実情です。就職活動においても、シラバスの提出や面接での模擬授業を求められるなど、教育能力を求められるケースが増えています。

東北大学 高度教養教育・学生支援機構では、教育関係共同利用拠点事業として、2010年度より「東北大学 大学教員準備プログラム(Tohoku U. PFFP)」を実施しています。このプログラムは、大学教員を目指す皆さんが大学教員に求められる能力や知識を実践的に学び、効果的な省察力を身につけ、円滑に初期キャリアを積んでいく事を応援します。また、次世代の大学を担う仲間として、専門分野を超えたネットワークづくりを応援します。関心のあるかたは、ぜひご応募下さい。

なお、本プログラムは新任教員を対象とした「東北大学 新任教員プログラム (Tohoku U. NFP)」と合同で実施します。

プログラム事前説明会実施のご案内

日時：2019年4月22日(月) 17:30~18:30

場所：川内北キャンパス 川北合同研究棟 101 CAHE ラウンジ

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areaa.html>

*プログラムの概要説明以外に、過去の参加者による体験談などが予定されています。

*事前説明会への参加は応募の条件ではありません。

1. プログラムの概要

本プログラムでは、下記の活動を予定しています

1. 「スタートアップ研修」2019年6月29日（土）
 - ・ 自己紹介、プログラムの説明、大学教員の仕事と専門性（レクチャー）、比較の目を育てる（ワークショップ）、事務手続きなどからなるスタートアップ研修に参加します。
2. 「授業観の転換とインストラクショナルデザイン」2019年7月19日（金）
 - ・ 今日の大学では、国際的に学習者中心の教育へとパラダイムシフトが進みつつあります。この際にキーとなる概念がインストラクショナルデザインです。ワークショップを通じてインストラクショナルデザインに基づく教育の在り方について学びます。
3. 「教育方法・学生理解に関する e-learning」2019年7～8月
 - ・ 先進的な教育方法や学生理解について、動画を視聴し理解を深めてもらいます。具体的な動画の内容についてはプログラムの中でお伝えします。
4. 「大学の授業を設計する：授業デザインとシラバス作成」2019年8月27日（火）
 - ・ 大学の授業を設計する（ワークショップ）では、大学の授業における目標、活動、評価や授業設計について、シラバス作成を通して考えます。参加者は事前にシラバスを作成し、提出します。
5. 「授業づくり：準備と運営」2019年9月18日（水）
 - ・ 授業づくりおよび効果的な伝え方について、認知心理学の側面から解説するセミナーを受講し、効果的な授業運営には何が必要かについて考えます。
6. 「コーチング技能を活用した学生指導」2019年11月21日（木）
 - ・ コーチングとは、深い理解とスキルを身につける認知的徒弟制度において、教師がモデリングに続き、課題を実行している学生にヒントや挑戦を与えたり、動機づけ、励まし、対話を行う活動です。学生の意欲を高める研究指導に不可欠なスキルを学びます。
7. 「授業を見る聞く学ぶ：授業参観」2019年10月～2020年1月
 - ・ 実際の授業を参観し、自分の教育活動を考えるヒントを得ます。授業後には授業担当者とふり返りを行い、授業内の工夫や授業前の準備、担当者の教育観などについて学びます。
 - ・ 授業参観は2回実施しますが、そのうち1回については、受講者自身に参観授業を見つけてきてもらいます。こちらで提供する授業参観については複数の候補の中から選択してもらいます。
8. 「先達コンサルテーション」2019年11月～2020年1月
 - ・ プログラムへの参加を通して生まれた疑問や、自らの課題について、先達教員との個人面談を実施します。教育はもちろん、研究や大学運営、今後のキャリアなど、参加者の関心に応じてアドバイスをもらえます。

9. 「マイクロティーチング」2020年2月予定

- 参加者は「4. 大学の授業を設計する：授業デザインとシラバス作成」で作成したシラバスより授業1回分を選び、90分の授業計画をたて、その内の10分程度を実際に行います（これをマイクロティーチングといいます）。他の参加者からコメントをもとに、自分の授業計画をふり返ります。

10. 「リフレクティブ・ジャーナル」プログラム中随時

- それぞれの活動を通して学んだことや気づいたことについて、リフレクティブ・ジャーナルを書いてももらいます。リフレクティブ・ジャーナルの執筆を通じて、自分なりの教育観の構築を目指します。また、全ての活動が終了した後に、課題レポートを執筆してもらいます。

11. 【オプション】「国内他大学訪問調査」2019年10月～11月予定（日帰りもしくは1泊2日）

- 国内の他大学の授業参観、教員とのディスカッションを通して、大学が置かれている状況、課題、多様性について学びます。参加者は希望調査のうえ参加人数を考慮し決定します。

12. 「成果報告会」2020年3月中～下旬

- 大学教員準備プログラム(PFFP)の成果報告を行います。プログラムの集大成として、プログラムで学んだことをグループで発表してもらいます。

【成果報告】

指定するテーマで4,000字程度の「課題レポート」を作成、提出してもらいます。また、成果報告会での成果発表を行います。

【修了証】

すべての活動に参加し、すべての課題を提出したプログラム参加者には「東北大学 大学教員準備プログラム修了証」を発行します。

【使用言語】

日本語を使用します。

【経費】

東北大学川内キャンパス内で実施するセミナーに参加するための交通費は本人負担となります。また、国内他大学訪問調査【オプション】に参加する場合、旅費、宿泊費は本人負担となります。

2. 応募者資格

大学教員志望の大学院博士課程後期の学生、日本学術振興会特別研究員、専門研究員など。所属大学は問わない。東北大学川内北キャンパスで実施されるセミナーやワークショップに不都合なく参加できる者。国籍は問わない。

原則すべてのセミナー・ワークショップに参加してもらう必要があります。やむを得ない場合は欠席を認める場合もありますが、その場合には代替の課題が課されます。また、不参加が多い場合は修了が認められない場合があります。

3. 募集人数

(新任教員プログラムの参加者と合わせて) 20 名程度

4. 応募期間

2019 年 4 月 23 日 (火) ~5 月 24 日 (金) 17:00 必着

5. 応募要領

「(1)東北大学大学教員準備プログラム(PFFP)申請書(3. 2019PFFP_shinseisyo.docx)」 「(2)指導教員等の推薦書(4. 2019PFFP_suisen-irai.docx)」を下記の URL からダウンロードし、必要事項を記入した上で、スキャンしたものをメール(tu-pffp@ihe.tohoku.ac.jp)に添付しご提出ください。

6. 審査について

書類審査により参加者を決定します (2019 年 6 月中旬)。

7. その他

プログラム参加終了後も OB/OG として、積極的に広報や運営などにご協力いただける方を募集します。

8. 提出先・連絡先

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター 宛

(川内北キャンパス 川北合同研究棟 201)

TEL: 022-795-4471 FAX: 022-795-4749

Email: tu-pffp@ihe.tohoku.ac.jp

URL: <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/>